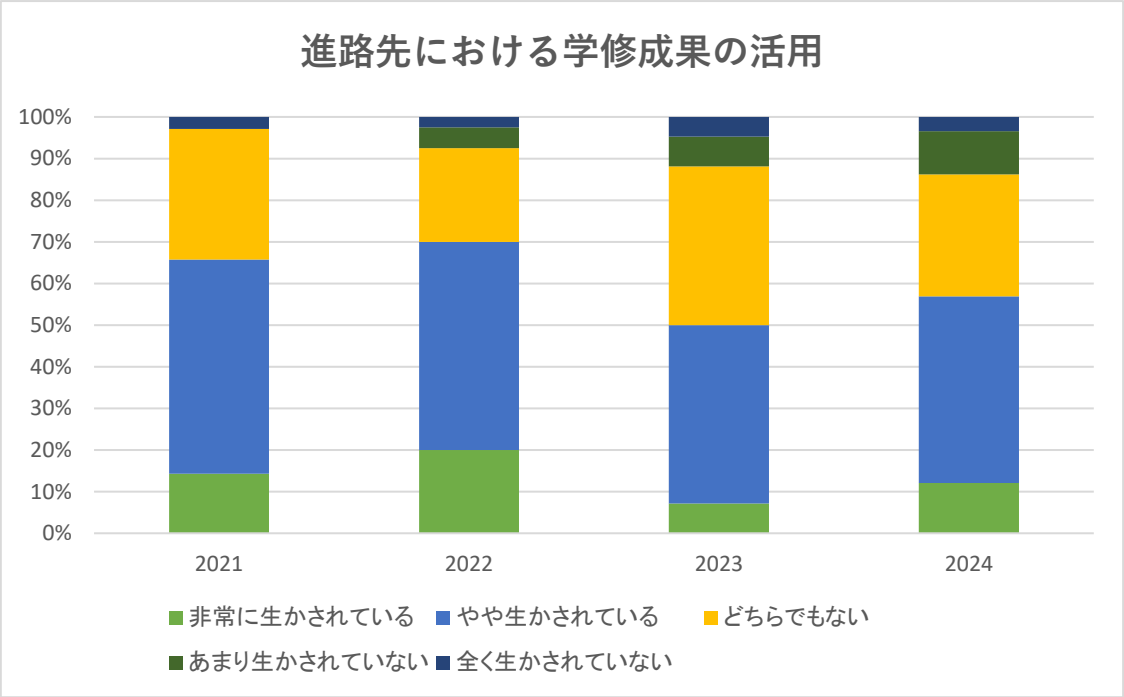
令和6年度卒業生調査結果概要

公益学部では、卒業後 3 年目を迎える卒業生を対象にアンケート調査を実施し、進路先において学修成果がどのように生かされているか等について、過年度との比較を行っている。

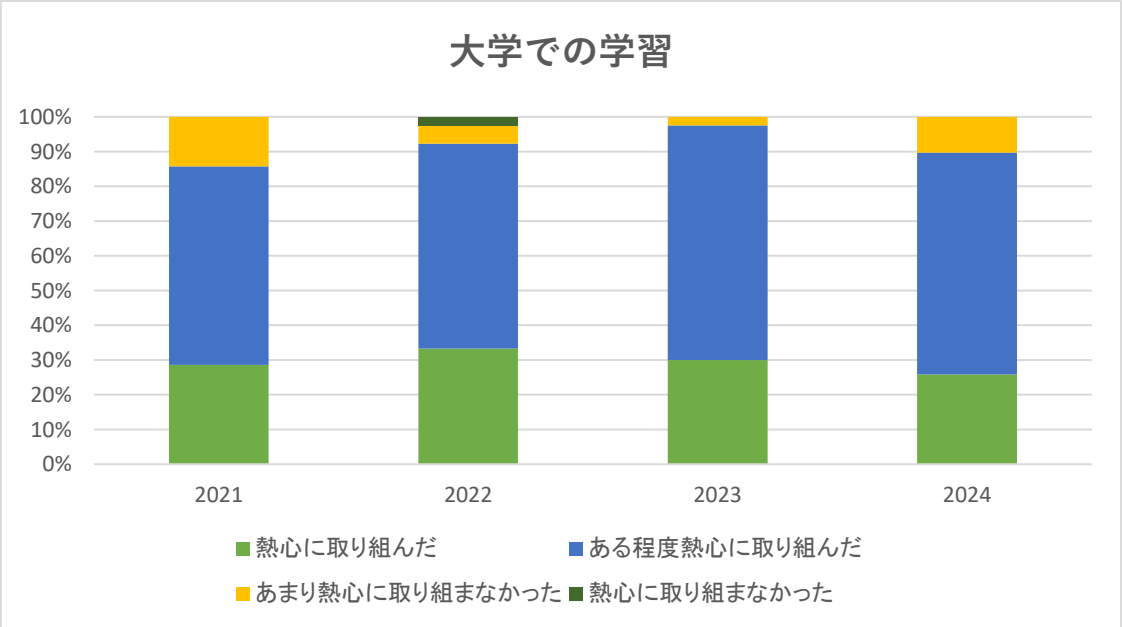
令和6年度（令和6年8月実施）では219 名に調査票を送付し、58名（26.5%）から提出があった。

以下、重要な項目について分析結果を記す。

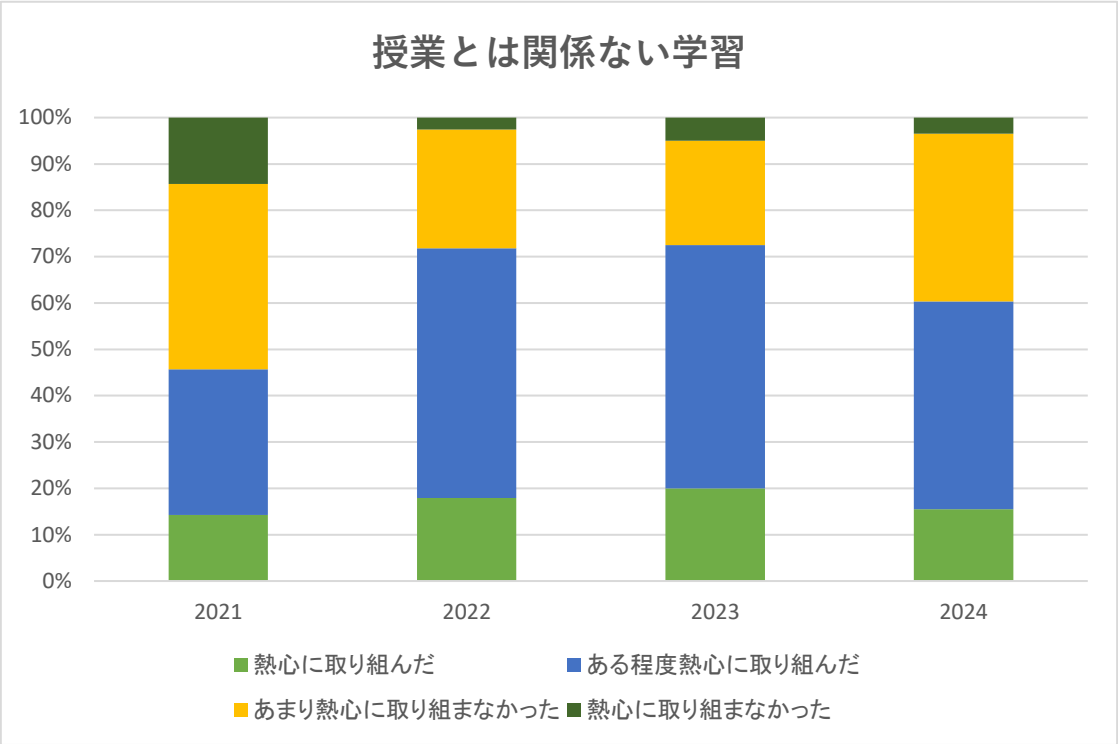
【マーク式回答】



「非常に生かされている」「やや生かされている」の合計は、56.9%となった。昨年の50%から回復が見られる。ただし、「あまり生かされていない」「全く生かされていない」の合計も、13. 8%と緩やかな増加傾向にある。



「熱心に取り組んだ」「ある程度熱心に取り組んだ」の合計は、89.7%と、高い数値となった。



「熱心に取り組んだ」15.5%、「ある程度熱心に取り組んだ」44.8%で、併せて 60.3%と高い数値となった。

【記述式回答】

Q.具体的にどのような学習がどのような場面で生かされていますか。
A1. ゼミ等でのリーダー経験や講義にて他の学生とグループを組んで課題に取り組むことを通じて、一人で物事を抱え込まずに周りの人を巻き込んで目標を達成する経験が仕事で非常に活かされていると感じます。(中略)他の人への指導・引継ぎという場面においても生かされていると思います。
A2. 主に利用者様の訴えを傾聴し、何を望んでいて、どのような介護をしていけば良いのか考える際にケアマネジメントが生かされている。
A3. 問題、課題に対してどのように解決をしていくべきか(手段、方法等)を的確に判断し且つ、期日までのスケジュールを逆算して考えていくこと。また、顧客側が話していることを深堀りし、自分の中でわかりやすく解釈、考えをまとめること。
A4. サークル活動において地域の方や企業の方と関わる機会があり、社会人としての振る舞い等を学ぶことができた。
A5. 海外に関する研修に多く参加したことから、異文化理解が深まったことや、海外から見た日本について考えることが多くなったことで、改めて日本の立場を学び直すきっかけをえることができた。その視点・考えが現在の研究や海外での活動に強く活かされていると感じる。
A6. アルバイト・パートへの指示、教育を行う為に計画、実行して行く。その中で、コミュニケーション能力や伝える力が必要となる。グループに分かれて行うワークは社会でコミュニケーションを要する時に役に立ったと思う。
A7. 公務員講座を受講したことや政策コースでの学びにより、試験対策だけではなく公務員としての心構えを身につけて入庁することができたと実感している。
(以上、実際の回答から 7 つを選んだ。)